

令和6年度 地域情報化アドバイザープロフィール

ふりがな	あらかき かつひこ	
氏名	荒木 克彦	
所属・役職	名古屋大学 未来社会創造機構 モビリティ社会研究所・招へい教員（客員教授） 中部電力株式会社 事業創造本部 新領域開拓ユニット・部長	
活動拠点	主に、愛知県・岐阜県・三重県 （オンラインであれば全国対応可能です）	
略歴	<p>1982年 高校時代、モトローラ系 CPU でプログラムを作成し雑誌などに投稿</p> <p>1983年 家族介護、就農（稲作）</p> <p>1993年 東京理科大学理工学部 物理学科卒業</p> <p>1993年 建築構造設計事務所にて、構造設計、CAD 操作、プログラム開発を担当</p> <p>1994年 インターネットで検索サイト、バナー広告交換 Web サービスを開発・公開</p> <p>1995年 荏原製作所にて風水カプラントプロジェクト担当（農業用水・防災関連）</p> <p>2000年 インターネットイニシアティブ（IIJ）にて、公共分野を担当 中央官公庁が牽引する e-Japan 施策を担当 （総務省 IPv6 移行推進、経済産業省 RFID 実証、国土交通省の防災業務等）</p> <p>2003年 安心・安全インターネット推進協議会委員</p> <p>2005年 同社名古屋支社にて、ブロードバンド、モバイル通信、セキュリティ対策等普及 東海情報通信懇談会地域情報化部会委員</p> <p>2011年 名古屋大学、総務省東海総合通信局と東海ラジカルネットワークを立ち上げ （ワークショップ、ハッカソン等を主催）</p> <p>2015年 道路交通情報通信センターに出向、ITS 高度化に資する調査研究、 ITS 世界会議で VICS 紹介、産学官勉強会を主催（防災情報提供、高齢社会対応）</p> <p>2016年 IIJ に帰任し自治体のセキュリティクラウド普及を担当</p> <p>2017年 中部電力にて新規事業開発に従事、地域コミュニティビジネス、ICT 人材育成、 新会社立ち上げ、クラウドファンディング、IoT サービス等を担当 （現在に至る）</p>	
地域情報化の 専門分野・技術	地域ネットワークインフラの整備・活用、地域情報化、官民データ活用、自治体の DX 推進、地域産業の DX 化、新規ビジネスの創出、起業家支援等	

専門分野	オープンデータ A I 活用 生成 A I 活用 シェアリングエコノミー 計画策定支援（地域情報化計画・官民データ計画・自治体 DX 推進計画等） 人材（DX 推進のための機運の醸成） 人材（DX に関する知識習得・研修・育成） 人材（外部人材活用） 自治体セキュリティ 自治体システム調達/地域情報プラットフォーム ネットワークインフラ（Wi-Fi/LPWA/光ネットワーク） デジタルデバイド対策 5G 防災 教育情報化/情報教育 働き方子育て テレワーク RPA 導入 医療・介護・健康 農林水産業 地域ビジネス スタートアップ支援（起業支援） 観光 個人情報保護 スマートシティ ICT 活用広報 その他	
自治体向けメッセージ	これまで関連したインターネット等の情報通信技術の知識・経験が、地域の皆様が抱える課題解決のお役に立てましたら幸いです。	
関連サイト		
地域情報化に関する実績	これまでの経験業務・研究活動	2011～2014 年 名古屋大学、総務省東海総合通信局と東海ラジカルネットワークを立ち上げ、世話人として地域情報化に資するワークショップ、ハッカソン等を主催
	これまでに関与した地域情報化に関するプロジェクト	2020 年～ 三重県木曾岬町 IoT 推進ラボ（きそラボ）会員